



今度こそ！今度こそは！またまた今度こそ！

令和5年度が始まって、ひと月ほどが経ちました。お子様の素敵な姿、元気な声、明るい笑顔に癒されながら、私は毎日を過ごしています。

ちょっとだけ自分の小学校時代（相当昔でセピア色がかっていますが…）を思い起こすと、毎年、「今年こそは、今度こそは！」と、真新しいノートをきれいに取ろうと誓ったことが思い起こされます。もちろん1週目ぐらいは割といい感じ。しかし、2～3週目に入ることには、ご想像通りの結果に。そして、また次の年の4月には、「今度こそは必ず！！」「またまた今年こそは！！！」と凝りもせず、何度も誓いを立てていたことを思い出します。

1年生のお世話を頑張っている6年生にも、ちょっとだけインタビューしてみたのですが、み～んな、個性的な今年の目標を立てているようでした。

「1年生のお手本になりたい」「優しくなりたいんです」「ぴしっとします」…素敵ですね。

新学期がスタートする日、子どもたちは様々な「今度こそ」を抱いて学校に登校してきたと思います。もちろん、私と同じように、子どもたちの「今度こそ」は霧散することもあるやに思います。しかし、たとえ達成できない「今度こそ」であったとしても、繰り返し「今度こそ」とチャレンジできるのも子どもの大きな特権ですね。

みんなで子どもたちの多様な「今度こそ」を応援していきたい。4月10日（1年生は12日）には、そんな子どもたちの「今度こそ」に応えたいと、担任の先生が様々な趣向を凝らした“学級開き”を行っていました。早速、自分のことをクイズ形式で発表する学級があれば、友達とひそひそ話をしている学級も。よく見てみると、友達と目や指で合図しながら互いの誕生日を聞き合い、並んでいるようです。共に学ぶ友達のことを知ってほしいという担任の願いが伝わってきます。1学期の目標を書いている学級もあり、まさに彩り鮮やか。

実は、先生たちも「今度こそ」の思いがとても強いのです。毎年、様々な子どもたちとの出会いから、先生たちも大きく成長させていただいています。その中では、よかった思い出とともに、反省点や課題も見えてきます。だからこそ「今度こそは！」には力が入りますし、これまでとは違ったことに挑戦することも。

教育の世の中では、学級初めのこの時期を「黄金の三日間」などと呼びます。学級のルールを作ったり、大切な視点を共有したり、様々な文化の卵が生み出されていく時期です。子どもたちの「今度こそ」をしっかり受け止め、なりたい自分になろうとする意欲的な心をさらに育んでいけるような、期待を裏切らないような、そんな榆木小学校を目指したいと思います。もしかしたら、子どもたちの中にはこれまでと違って戸惑うこともあるかと思います。ゴールデンウィークは、ゆっくりお子さんとお話をするよい機会でもありますね。ぜひ、学校の様子も話題の一つにしていただけましたら、幸いです。